



佐伯市の山間部は、九州山地の主峰や壮大な鋭峰が続く祖母傾国定公園に位置し、照葉樹の原生林で覆われています。公園に抱かれる景勝地のひとつが藤河内渓谷。長年かけて育まれてきた一枚岩の甌穴群が連なり、透明度の高い川が流れる圧倒的な渓谷美が、五感を刺激します。広大な森林を持つ佐伯では昔から林業も栄えており、藩政時代から木材の育成が勧められ、多くの木材を活かした木造船の製造も行われてきました。手つかずの自然が残る山々は昼夜の寒暖の差があるため、山の幸や清流に育つ鮎といった農水産物も豊富です。また西日本有数のホタルの生息地でもあり、季節になると100万匹以上のホタルが乱舞する幻想的な光景が見られます。



四季折々の自然が残る山里には、
どこか懐かしい空気がよく似合う。



澄んだ空気に満ちた山々や
季節の野菜が実る畑、
清流で遊ぶ子どもたち。
深い自然にあふれる佐伯の里は
「ただいま」と帰って来たくなる温かな場所。
人々の笑顔や絆も、かけがえのない宝物です。



			5	9
1	2	3	6	10
			7	
			8	
4				

1. パンガローや炊事用具などの設備も充実「直川憩の森公園キャンプ場」(直川)
2. 山あいに広がる美しい茶畑(本匠)
3. 鎌倉時代に彫られたといわれる磨崖石塔群「小倉磨崖石塔」(弥生・県指定史跡)
4. 木造では日本一の大きさ「小半(おながら)森林公園キャンプ場・本匠の大水車」(本匠)
5. 大分県と宮崎県の県境にあり、日本三百名山及び大分百山に選ばれている「傾山」(宇目)
6. 色鮮やかな柳瀬チューリップ畠(宇目)
7. 実り豊かで懐かしいふるさとの姿が映える秋の景色(直川)
8. 標高645m、初日の出の名所として知られる「尺間山(しゃくまさん)」(弥生)
9. 収穫後の田んぼに飾られたかかし(本匠)
10. 大分県と宮崎県の県境に近く、北川ダムのダム湖に架かる「唄げんか大橋」(宇目)